

シンポジウム

# 身分的周縁の比較類型論

## —近世都市の法と社会—

日時： 2008年9月6日(土)・7日(日)

会場： 大阪市立大学 杉本キャンパス  
学術情報総合センター1階 文化交流室

【シンポジウムの趣旨】

近世大坂研究会では、2006年にシンポジウム「近世大坂の法と社会」を開催し、[法の形式]と[法の内容]を統一的に分析するなかで、社会の実態に迫る方法を模索した。そこから、都市社会の社会集団、諸仲間に着目する《身分的周縁》の研究動向と接点が出てくる。本シンポジウムでは両者をクロスさせ、身分的周縁研究で深められてきた①モノの流れに即した人々の社会関係・社会集団、②乞食・勸進層の形成する社会集団を対象に、都市における[法と社会]の視点から議論する場を設けることとしたい。

\* \* \* \* \*

### 6日「モノの流通と諸社会集団」

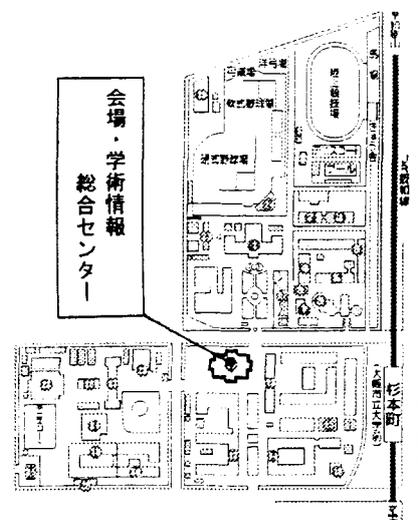
時間 13:00~17:00

報告： 《問題提起》塚田孝（大阪市立大学）  
原直史（新潟大学）  
八木滋（大阪歴史博物館）

### 7日「乞食・勸進層の形成する社会集団」

時間 10:00~17:00

報告： マーレン・エーラス  
（プリンストン大学／大阪市大客員研究員）  
藤本清二郎（和歌山大学）  
吉田ゆり子（東京外国語大学）  
三田智子（大阪市立大学・院生）



主催：近世大坂研究会・ぐるーぷとらっど3・大阪市大 G-COE 都市論ユニット・  
大阪市大都市文化研究センター